

茨城県立中央看護専門学校 助産学科

第2章 相談・教育の基礎 (P.18-71)

A 相談・教育の対象理解 p.18-27

B 相談・教育の理論的基盤 p.28-57

C 学習の理論 p.58-71

第3章 相談・教育活動の過程と技術

B 相談技術の基本 p.78-92

前半回

後半回

担当: 常磐大学人間科学部 馬場 久美子

(臨床心理士・公認心理師)

本講義のねらい

・ 助産師の仕事の重要な要素

- …妊娠・分娩・産褥の各期における生理的側面の援助活動
- …これから親となっていく人が直面する不安や困難感など、
心理的側面に関する援助も重要な役割
- …近年、新生児訪問、母親学級、学校訪問など、
分娩に関わる事を越えた教育や相談の機会が増えている

助産師が備えるべき相談・教育活動の技術について、
基本となる理論的基盤を心理学的な見地から講義
します

第2章 相談・教育の基礎 (P.18-71)

A 相談・教育の対象理解 p.18-27

B 相談・教育の理論的基盤 p.28-57

C 学習の理論 p.58-71

助産師が相談や教育を主な目的

対象者が中心となって意思決定していくために…

知識を提供し、

「教育技法」で学んだことを活用

意思決定過程に並走すること

「教育技法」で学んだことを活用

1 教育と学習

教育…①価値や方向性を持つ、②意図的・計画的働きかけ

教える…外から(望ましい)知識などの内容を伝える

育てる…人間が育つことを引き出し助ける

ポジティブな価値への方向づけが含まれる

Education の語源
ラテン語の educit 引き出す(産婆)
educat 養う(乳母)

学習…①経験が先行し、②その経験によって行動様式や認識に変容
が生じる、③変容の効果が持続的に残存する

経験の反復によって生じる行動や能力の比較的持続的な変化
環境との相互作用を通して新しい行動様式を身につけること

不安を学習するなどネガティブなものも含まれる

参照) 熟達…①先行経験を前提としない、②環境からの
影響を受けにくい、③遺伝既定の度合いが大きい

2 学習を理解するための理論の系譜

行動主義心理学と学習

行動：外から観察可能

	代表的な研究者	キーワード
古典的条件づけ レスポナント条件づけ	ワトソン	Little Albert experiment (1920) 刺激(S)と反応(R)
	パブロフ	パブロフの犬の実験(1927) 無条件刺激と無条件反射 中性(条件)刺激と条件反射 対提示

5

古典的条件付け ワトソンのアルバート坊やの実験

乳児に「白ネズミ」と「大音量」をセットで提示し、恐怖を条件づけ(学習)させた心理実験。恐怖症などの感情は経験によって学習されることを実証したが、倫理的問題を指摘されている

7

古典的条件付け パブロフの犬の実験



生得的に強い反応を誘発する無条件刺激と、もともとは中性的である条件刺激を対提示すると、条件刺激に対しても反応が獲得される

6

・ つまり、古典的(レスポナント)条件付けとは

ある生理反応R(response 例:唾液分泌)をもたらす刺激S1(stimulation 例:食べ物)の前に別の刺激S2(例:ベルの音、文字など)を示し続けると、刺激S1が無くても(元々は唾液分泌の機能を持たない)刺激S2だけで反応Rが起こるようになるものである。

そこに当事者の意思は介在しない

8

2 学習を理解するための理論の系譜

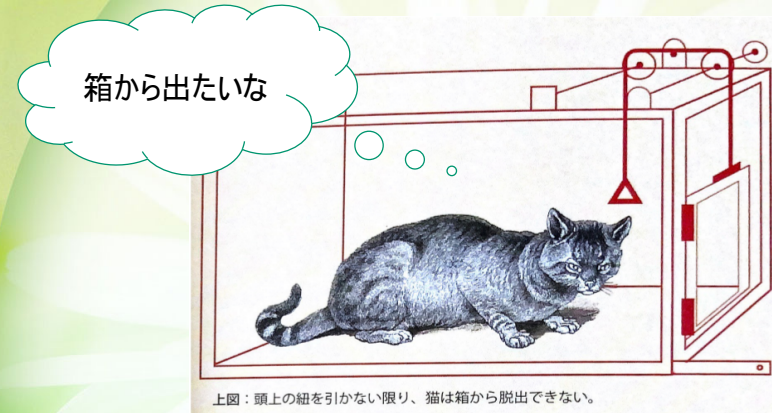
行動主義心理学と学習

行動：外から観察可能

	代表的な研究者	キーワード
道具的条件づけ オペラント条件づけ		
1. 試行錯誤法	ソーンダイク	効果の法則
2. プログラム学習	スキナー	スモールステップ 即時フィードバック(強化子) 自己ペース

9

道具的条件付け ソーンダイクの猫の問題箱実験

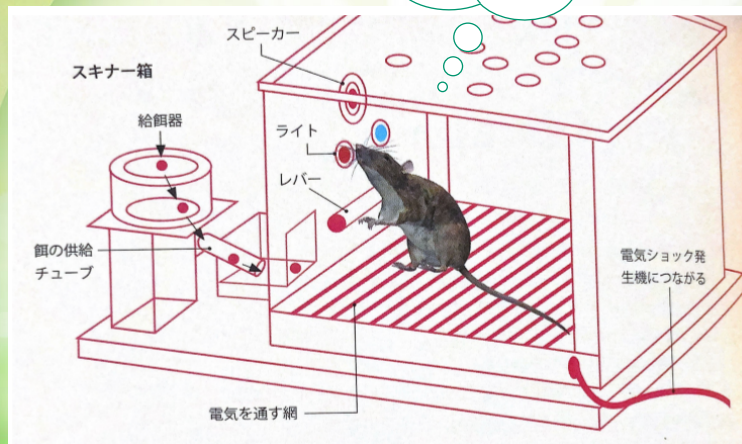


偶然成功した行動が強化され、失敗した行動が抑制される
→ 学習は経験(試行錯誤)の積み重ねによって形成される

10

道具的条件付け スキナー箱

お腹が空いたな
ご飯がたべたい



11

道具的条件付け



強化子

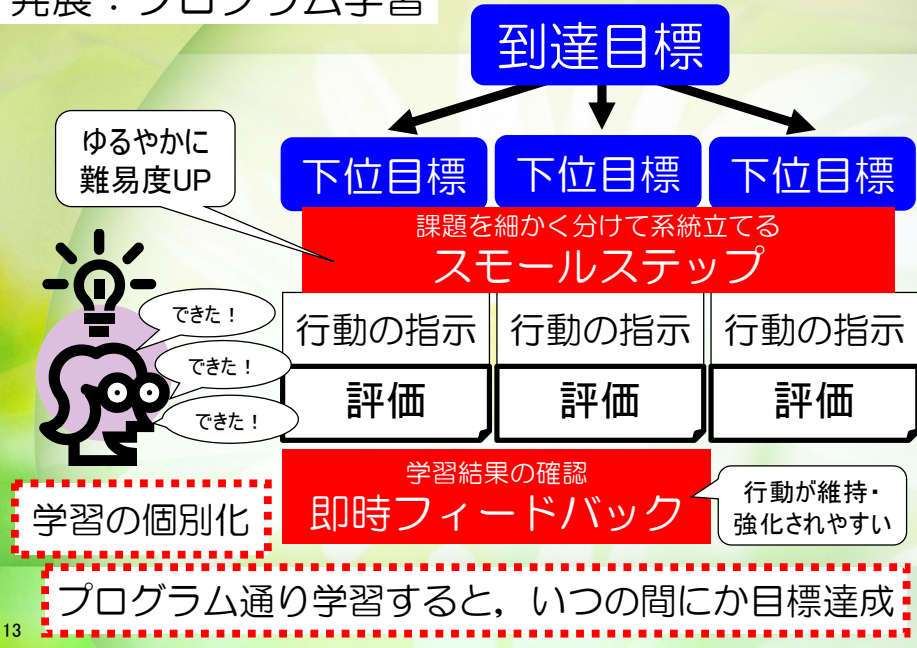
行動の頻度↓
消去



結果として満足を伴う反応は、
その刺激との結合が強められ繰り返される

12

発展：プログラム学習



13

つまり、**道具的(オペラント)条件付け**とは

生体が**特定の刺激(弁別刺激:環境条件)**の中で何らかの**随伴行動(オペラント行動)**を発動し、その直後、その**行動に随伴した刺激(強化子)**を与えると、**特定の刺激条件下におけるオペラント行動の出現頻度が増加するもの**

意思を持って行う反応(行動)が介在

随伴行動と生理反応とを区別

注意: プログラム学習の即時フィードバックで「こうしたらいい、ああしたらいい」とアドバイスをしすぎると、ダメ出しのように感じられるため、できているところを褒めることを忘れずに!

14

課題

行動論で紹介した理論のうち、**少なくとも1つ**を選んで、自分の体験や身近な出来事を思い浮かべてみましょう。

例えば…

- ・古典的条件づけ: ある人から電話がかかってきてひどく怒られた。その着信メロディーと同じメロディーを聞いただけで怖くて震えるようになった。
- ・道具的条件づけ: 早朝、猫がお腹が空いて飼い主の近くをうろついているときにたまたま飼い主が眠る枕元にあるものを飼い主の頭の近くに落とした。飼い主が起きたので朝ごはんをねだった所ご飯をくれた。次の日から毎朝頭の近くに置いてあるものを落とすように…。

15

2 学習を理解するための理論の系譜

認知主義・構成主義と学習

認知: 頭の中の活動

	代表的な研究者	キーワード
洞察学習	ケーラー	アハ体験
発見学習	ブルナー	主体的学習・探求学習 自己報酬という自律性 外発的動機づけ・内発的動機づけ (p.67)

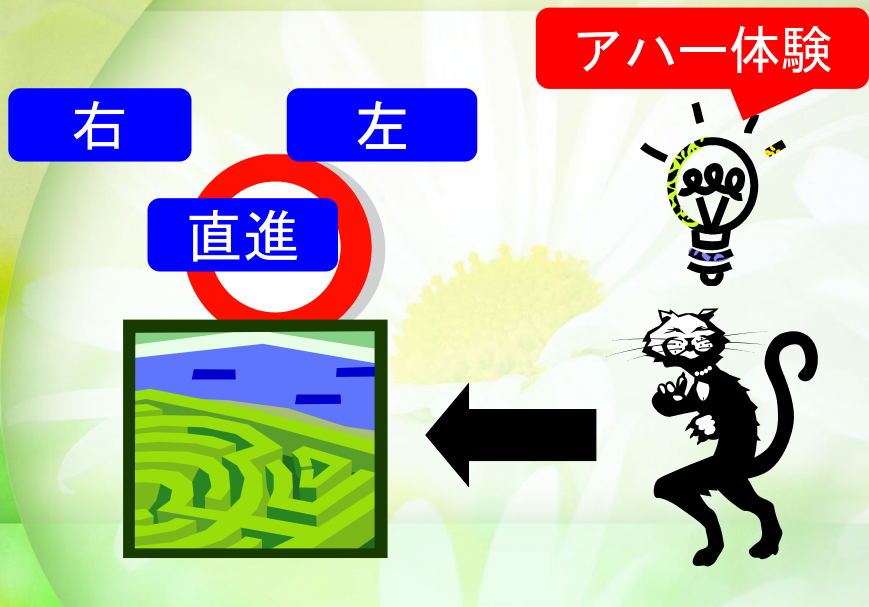
学習のモチベーション

社会規範や価値を自分のものにする(内在化)には…自分にとってのメリットを伝える…人に言われてやるのではなく、自律的にやれるようになる!

要素や部分の積み上げの結果として何かが形成されるという「分析による統合」ではなく、人間は何かを知覚した初期から何らかの意味のまとまりを作り出そうとし(構成)、まとまりの予感や期待から要素の位置付けをしていくという「統合による分析」を基本とする考えをもたらした

16

洞察学習



2 学習を理解するための理論の系譜

認知主義・構成主義と学習

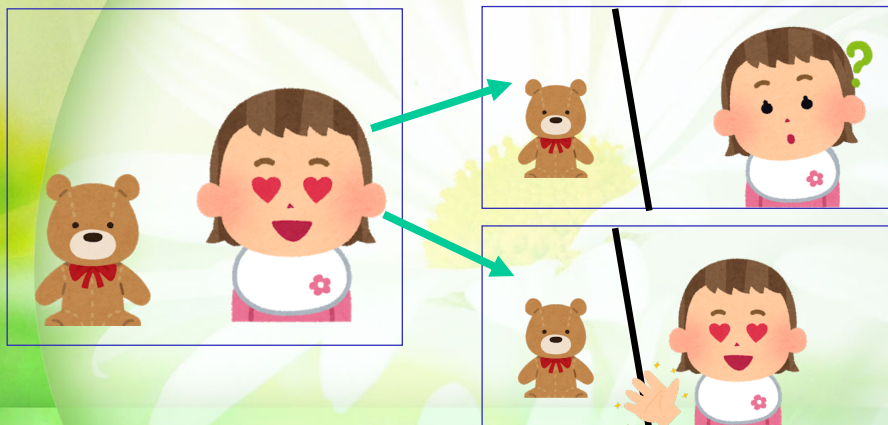
認知: 頭の中の活動

	代表的な研究者	キーワード
認知発達理論		
1. 認知的発達段階	ピアジェ	感覚運動期 前操作期 具体的操作期 形式的操作期
2. 社会文化的相互作用	ヴィゴツキー	発達の最近接領域 足場かけ (p.64)

その人の準備性(レディネス)は?
ちょうど良い足場は?
<アセスメントが大切>

認知的発達段階

- 対象の永続性 object permanence



3 学習のメカニズム

知識に効率的・効果的にアクセスして利用できる

重要なことを覚えること、身につけること

- **チャンク化**: 情報や知識を集めて認識しやすい形にすること
情報の意味を理解できるように伝える!
→ そのためにはまず**自分が意味を理解**していないと無理!
- **スキーマ帰納**: 組織化された考えのパターンや情報のカテゴリ、複数の情報の関係をまとめる行動
知識を**構造的に理解**するために必要

熟達(アンブローズ)

1. 基本的なコンポーネントスキルを習得する: 各要素の技術のコツは?
2. コンポーネントスキル同士を連結する: スムーズに!
3. その技術がいつどのような状況で用いられるかを知り、提供する: 状況に応じて要素の変更や省略ができる!

参照) 情報処理論

・**記憶**: 経験(学習)が貯蔵され再現されること

・**記憶のプロセス**

記憶(符号化) → 保持 → 想起(検索)
 <覚える> <とっておく> <思い出す>

・**記憶の種類**



記憶をよくするには?

反復学習と
有意味化

スキーマ

4 学習プロセスを支援するための理論

足場かけ

他者からの支援があることによって、学習者が現在の自分一人で成長するより、さらに高いレベルで成長できる(ただし、**発達**の**最近接領域**を意識する)

外化と明確化、ふり返り

- ・ **外化**: 自分の学んだことを人に話したり書いたりする
- ・ **明確化**: 自分が理解できた事、できていない事を認識
→ 学んだ後にアウトプットする機会を設けると良い
- ・ **ふり返り**: 反省的思考(デューイ)
行為についての省察(ショーン)

専門職が学習者のふり返りに並走することによって、学習者が行為の改善点に気づくことや、行為に対するエンパワーメントに繋げることができる

5 学習へのモチベーション

内発的動機づけ・外発的動機づけ

自己決定理論

(Ryan& Deci, 2000)

ある行動がどれだけ自己決定(自律)的に生じているのかを説明する理論

動機づけ

非動機づけ 外発的動機づけ 内発的動機づけ

行動は生じていない 例) 報酬・罰 例) 夢や目標のために 自分の興味や関心に基づいて行動するため、外部から働きかけは不要

調整なし 外発的調整 同一化的調整 内発的調整

非自己決定的 ← 例) 結果が重要 例) 自分の他の欲求や価値と調和 統合的調整 → 自己決定的

期待・価値理論、原因帰属

- ・ **期待**: 成功の見込み できそう!
- ・ **価値**: 課題(対象)やその達成(行為と結果)に対してどの程度価値(主観的な魅力や望ましさ)を認識しているか

意味がある!

専門職が学習者の「できる」という気持ちと「意味がある」という気持ちに働きかけることが、学習者の行動を引き出すことに繋がる

- ・ **原因帰属**: 結果の原因帰属のあり方がその後の行動に影響(ハイダー)

個人的要因

環境的要因

意図・努力・能力

困難さ・運

自分でコントロールできる(改善できそう)な方向に原因を帰属する
→ 行動変容に向けた行動が出現しやすくなる!

授業中に示した図など参考とした資料の出典

- ・ 木村直之 (2021). ニュートン別冊 心理学実践編 ニュートンプレス
- ・ アダム・ハート=デイヴィス (著)・山崎正浩(翻訳) (2016). パブロフの犬：実験でたどる心理学の歴史 創元社
- ・ トム・ジャクソン (著)・清水寛之・井上智義 (監訳) (2020). 図鑑心理学 ～歴史を変えた100の話～ ニュートンプレス
- ・ 越智啓太 (編) (2016). 心理学ビジュアル百科 基本から研究の最前線まで 創元社